

(第2号様式)

南風原第 2373 号
南風原高支第 2373号
令和6年 3月17日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立南風原高等学校
沖縄県立南風原高等支援学校
校長 嘉数 修
(公印省略)

令和6年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和6年12月11日付け教県第1582号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和6年7月12日	場所	南風原高等学校	出席 状況	5名参加
第2回	日時	令和6年11月21日	場所	南風原高等学校	出席 状況	5名参加
第3回	日時	令和7年2月26日	場所	南風原高等学校	出席 状況	3名参加

2 学校評議員に求めた事項

以下の点に関する助言

- ① 学校経営方針
- ② 教育活動について

3 学校評議員の意見

①学校経営方針について

・校則について保護者との意見交換会が行われましたが、このような機会を多く持つことは非常に良い事と思います。定期的な意見交換会を開催し、学校側と保護者の指導についての勉強会を行う事を提案します。
・学校に楽しみがあるような、意外性のある「遊び」の工夫があると刺激になるかと思いました。多様な生徒にあった、やる気を起こさせる機会を作れるように引き続きお願いします。
・高等学校と高等支援学校が共にある環境は、生徒に多いに刺激を与える可能性があると思います。互いの生徒が交流できる活動を増やしていくことで、良い効果が出てくると感じました。

②教育活動について

・得意な分野を教え合うような雰囲気ができるのと全体の雰囲気も改善されるのではないのでしょうか。日頃から、校内に自習の場を提供し、自主的に学習に取り組む環境作りが必要に思います。
・キャッシュレス化が進む中で、金銭感覚の指導も必要かと思います。様々なトラブルに対する知識と、社会人になる前に計画力が学べるような教育が必要ではないかと思います。
・多様性が重視される時代でもあり、進路についても様々な方向性があります。職人に合わせるなど、地域資源を活用した取り組みで学校の活性化に取り組んでください。

4 学校運営に反映した事項

・学校経営方針を教職員間で共有し、学校活性化委員会を中心に、特色ある学校づくりに努めた。
・南風原町の地域の資源を活用した教育活動の充実に取り組んだ。
・校則について、話し合う場を設定し、社会の変化に応じた生徒指導のあり方について情報共有や時代に即した改善に向けて検討を行った。

5 課題その他

・生徒の興味関心、希望に応じた進路指導の充実、及び進路決定率、大学への進学率の向上。
・生徒の特性や課題に応じた生徒指導の在り方について、改善へ取り組みを進める。
・PTA活動、部活動の活性化と地域資源を活かした特色ある学校づくり。